

くしもと **議会だより**

2017年3月
Vol. **25**



(ハマダイコン) あまり人の手が入っていない海岸に自生し、秋のはじめに芽生え成長しながら冬を越し、翌年の春にうす赤紫色の花を咲かせる。(撮影 錆浦海岸)

一般質問	P 2 ～ P 1 2
議会の動き	P 1 2
政治倫理審査会報告	P 1 3
議長公務日誌・編集後記	P 1 4



漆畑 繁生

まち、ひと、しごと総合戦略と人口ビジョン

質問 人口抑制政策が義務づけられ、平成27年度から5年刻みの計画となっているがなぜか。

答弁 5年ごとの国勢調査に合わせる。

質問 単年度計画に変更し、年度途中の目標達成への検証が必要ではないか。

答弁 1年刻みの比較する数字がない。

質問 スタート時点の27年国勢調査で、すでに目標の16万813人に対し16万559人、254人が減少してあるがなぜか。

答弁 少し分析し直さないとけないと思っている。

質問 映画、国体、高速道路の南伸、串本町がさぞ良いような話がありましたが、新宮東牟婁で高齢化率で、北山村や古座川町より低い、人口減少率で一番であった。

答弁 (町長) 国体、映画、高速の南伸がなければ今の状況を保っていないかった。

質問 古座川町、北山村は、映画も国体もなかった所に人口減少率でも負けている。串本町のハローワークは、県下で仕事のない順に一番街坊、二番串本です。観光立町という事で予算投下してきましたが、宿泊施設が少なく雇用につなげられない。観光に力を入れるのも限界ではないか。

答弁 (町長) バランスであると思う。観光だけやるといふ事ではない。串本は漁業あつての町だと思ふ。農業も力を入れたが、農業面積が大きなものがない。取った魚を加工して売り出すにも串本ブランドが必要。

質問 Uターン、Iターン者に稲村台地の農地に、中山間地対策の補助金等により、施設農業による収益確保をしてはどうか等考える必要がある。人口減は、税収、地方交付税、小売業の売上減少等地域経済に影響が大きく、人口減対策に早急に取組むべきです。

建設予定のある施設、事業実施と財政について

庁舎、認定こども園、串本小学校の建設費が、財政計画が毎年作成されるたびに増額になっていきます。庁舎は新町計画15億、今回の財政計画では約22億、認定こども園12億7千万、27年財政計画では7億5千万、串本小学校20億1千万、27年財政計画では19億、これらサンゴ台中央線道路をいれた事業費は約60億円になります。

地震、津波を考えれば高台移転は良い事です。しかし、他方多額の資金が必要。これらの事業実施をすれば、平成29年から平成43年までの15年間、約14億3千万の平均で借金の償還をしなければなりません。

平成32年5億8千万、平成33年7億1千万、平成34年6億4千万と毎年基金(貯金)を取り崩していかねば予算が組めない状態です。平成34年には基金残高が20億6千万、その後も約6億の貯金の取り崩しが必要になり、基金は34年で枯渇する計算になります。その後も、平成43年まで償還がつかず。

これからの若い世代に多額のつけを残すことになり、持続可能な自治体とはならないのではないかと。2030年には子供の出生数が約50人になると予測されています。

町長は、最悪の場合であるとの答弁でしたが、予算執行をするにあたり最悪でも持続できる自治体でなくてはなりません。

これらの事業実施をする前に、起債(借金)をしてまで、実施すべき事業か、将来の償還計画に確実性があるのか、国も1千兆円を越す借金をかかえ、借金をしながら地方を養っている状況であり、今後、地方交付税が国の財政、人口減等により減つてくると予測され、現況施設、大島小、中、出雲

小等を利用する事を考えてみるべきではないか。

くしもと町立病院の経営状況について

病院のうわさは余り良い事を聞かない。経営状況はどうか。昨年の10月までと比べると約7,900万減となっている。入院患者、手術件数が入院収益の減少になっているとの答弁であった。今年度の病床利用率81.8%の計画に対しては80%を越えなければ経営でいけないと言われているが、病棟の可動域は一般病棟73.8%、療養型65.6%合計で71.2%であるとの答弁であった。病院経営は厳しい事を認め、どのように経営を立てなおすのか、持続可能な病院経営を目指す目標で、今年度中に改革プランを作っていくとの答弁。

改革プランは病院内でたてるのか、今まで改革プランをたてたが、うまくいかなかったのではないか。

経営コンサルタントを入れて不採算部門を開業医があるのだけれど、そこまかせではどうか。改革プランを院内である程度練り、コンサルタントにいろいろアドバイスをいただきながら、改革プランを訂正していく方向に持っていくたいとの答弁であった。町民の皆様の医療の確保と経営の両立を考えていかなければならない。



仲江 孝丸

共同作業場の現状

質問 条例で権利譲渡や転賃は出来ないとなっているが、契約書ではまた貸しになっている。条例違反だ。しかも一つの物件を二つの企業に貸しているもおかしい。

答弁 (副町長) 当時西牟婁ではこのような形態をとってきた。問題があるとは認識していない。

質問 同和対策事業は終わって。一般施策としてやるなら使用料は取るべきだ。

答弁 (町長) 今後の流れを見ながら検討する。

被災時の対応

質問 支援に目が行きがちだが、援助を受けるための計画や体制を準備していく必要がある。

答弁 (総務課長) 11月の防

災訓練では県の防災士会からボランティアセンター運営の指導をおおぐ。自主防災を対象にした避難所運営訓練も順次各地区で行って行きたい。

貧困の実態と対策

質問 格差と貧困が社会問題となっている。わが町の現状は。

答弁 (教育次長) 串本町で全国平均所得の半分以下は4,753世帯。

質問 古座川町は学校給食の無償化を検討している。我が町での軽減・無償化の考えは。

答弁 (町長) 古座川町の無料化は素晴らしいが、串本ですぐの無料化は難しい。

古座川町との連携

質問 火葬場の共同経営について古座川町長との話し合いは。

答弁 (住民課長) 9月5日に文書で申し入れた。

介護新総合事業

質問 介護保険を納めておれば介護が受けられると言っておきながら、財政を理由に認定を受けても介護が受けられ

ない現状が起こりつつある。新事業を早く具体化しないと行き詰る。

答弁 (福祉課長) 30年以降の概算が出来ていない。来年度第7期の介護計画策定を行う。29年度の利用状況も見ながら出来るだけ早い時期に策定したい。

建設業退職金共済制度

質問 加入状況は。

答弁 (建設課長) 串本町では69業者中・建設共が42その他制度4の46業者が共済事業に加入している。

質問 建退共は会社が変わっても通算される。公共事業だけではなしに地元業者に対して日常的に加盟し働く人の待遇改善を指導する事が必要。

答弁 (建設課長) 今後そのように努めていく。

大辺路街道の今後の活用

質問 大辺路としての認知を高める必要がある。

答弁 (教育次長) 大辺路の先々にジオサイトが点在している。世界遺産とジオパークを連携させた活動が必要。

答弁 (教育長) 世界遺産・



古座造船所の従業員



瀧田 勝裕

町民運動会について

質問 町民運動会で今年の出雲区はユニホームまで作って頑張っておられたんですが、2区は一度棄権したことがあります。全体的に参加しやすいように、20人の競技を10人にすると、区割りを変更するとか考えないといけないと思いますがどうでしょうか？

答弁（教育長） 何とか皆さんが参加して、その中で楽しいものをつくっていただければありがたいと思います。言われている点については検討委員会が十分話をします。

答弁（町長） やはり参加しやすい種目を考えていくのは大事なことです。創意工夫して本場に盛り上がりつつ、住民があれだけ一堂に会する機会はないわけですから、力を合わせて頑張りたいと思います。

町民一斉清掃について

質問 高齢化が進んで参加者が減ってきているが、参加しやすい気候の良い時にしようでしょうか？

答弁（住民課長） 一斉清掃の日は美化推進協議会で決めていて、難しい地区については、その地区の都合に合わせてやっていただければ

ばという形にしています。

答弁（町長） やはり地元年齢構成でも随分違ってくるかと思うんです。年配の方が多い地区においては暑さ寒さの厳しい時は避ける。それは区長がご判断いただければいいのかなと思います。

日米修交について

質問 日米修交225周年の式典が行われました。ロータリークラブで駅前にレディ・ワシントン号のミニチュメントを設置したので、すごく思い出があり、ある意味チャリティだと思います。知名度的には圧倒的にペリーの浦賀への来航です。そこで横須賀市とタイアップして売り出すことはできないでしょうか？

答弁（町長） もう少し地固めをして町民の皆様にも知っていただいた段階で横須賀市との連携とか考えて、ペリー祭にも行ってみたいと思います。

空き家の現状について

質問 空き家調査の現状はどうなっていますか？

答弁（住民課長） 管理空き家26戸、未管理空き家219戸、老朽危険空き家123戸となっています。

質問 老朽の123戸が問題で、事故が起こってからは遅くて、早急に対処しないといけないと思いますがどうなんでしょうか？

答弁（町長） 景観が見苦しいとかいうのではなく、台風であつたり、突風で屋根が飛んだり壁が飛んだりということ、地域の皆様に迷惑をかける、ということが起こりますので、私からも急げという指示を出しています。



佐藤 武治

地方創生 地域おこし協力隊について

質問 地域おこし協力隊の存在を多くの町民は知らない、ではないか、町民への周知、導入した経過を教えてください。

答弁（企画課長） 広報誌、新聞等で広く周知されている。又フェリスブックで活動内容を発信しているのでも若い人たちが周知できていると考ええます。経過については、起業に係る経費が特別交付税の対象になり、地域要件も緩和され、平成27年から導入した。

質問 地域おこし協力隊を導入する目的は？

答弁（総務課長） 目的は、人口減少や少子高齢化が進む町に、地域外の人材を積極的に誘致し、地域の活性化に必要施策の推進に資するとともに、定住及び定着を促進する

るためです。

質問 現在3名が採用されていますが、現状どのような仕事をされているのか。

答弁（町長） アイシエさんはトルコ関係から始まり国際交流関係、中村君は地籍調査、博多君は産業課で地域振興について仕事をしています。

（建設課長） 中村君については地域振興は土地の特性をよく知る事が大事で、地籍、町の環境等を理解してもらう気持ちから地籍調査等の活動に参加していただいています。

（総務課長） アイシエさんはイベント関係の他に、町内の小・中学校でトルコ文化授業、地域住民との交流を多くしています。又多くの団体から講演依頼もあり、串本の魅力、トルコとの交流について活動をしています。

質問 協力隊等を対象とした全国サミットが行われて仕事や受け入れ側にも役立つような内容の濃いものですが、串本町からの参加は？

答弁（総務課長） 参加はしていませんが、内容が素晴らしいものであれば検討します。（その後参加しましたと報告がありました）



鈴木 幸夫

16月議会

火災予防活動について

質問 8月4日の和深地区の民家火災の消火体制はどうであったか。午後9時過ぎにサイレンが鳴り、翌5日午前2時頃の鎮火という結果になったのは？

答弁（消防長） 火災への初動対応として24時間勤務の3交代制。

質問 招集サイレンの吹聴は？

答弁（消防長） 当日のサイレンは司令室の判断で、消防団招集のサイレンを吹聴。

質問 消火の水利確保（水圧）は？

答弁（消防長） 一挙鎮滅という方法があるが、消化に対して有効な放水がある。放水量、放水角度、いろんな調整ができる筒先を使っている。今回は有効な放水と考える。

質問 消火栓の能力は？

答弁（消防長） 現場近くの消火栓能力、水圧は7.8キロ（町内平均4〜5キロ）で高いところ。

質問 防火水槽（40トン）が短時間でなくなったと聞くが？

答弁（消防長） 水利基準は、1分間の放水量、1トン。今回は4口にしたので20分間位であった。

質問 今回の火災の検証は？

答弁（消防長） 和深分団が早い段階での消火活動であった。

現場は消防本部から緊急出動して20分弱かかる。火災は燃え上がった10分すれば中期になる。今回は延焼防止に主眼をおいた。消防戦術的には、消防署と消防団の連携もうまく包囲体系がとれたと判断する。

その他、防火水槽の管理、予防査察、火災報知器の設置について（通電火災対策として耐震ブレイカーの設置）、空き家や高齢者宅の火災予防対策を尋ねた。

障害者差別解消法と町の取り組みについて

質問 本年4月に障害者差別解消法が施行された。今回の施行に伴い今後の取り組みは？

答弁（福祉課長） 国は、平成27年11月に障害者差別解消法を制定、H27で公表。今後ガイドライン等の情報も含め広報・HP掲載による啓発、関

係機関に啓発リーフレットをおくなど周知をはかっている。

質問 神奈川県相模原市での障がい者施設での事件をうけて町の対策は？

答弁（福祉課長） これまで以上に障がい者への福祉対策、差別解消等に取り組んでいく。そのためには啓発活動の充実、施設の防犯体制の強化等に関する注意喚起、警察、関係機関、地域との連携、障害を抱える当事者の不安を和らげる施策を取り組む。

質問 今回の事件の背景として、人権認識の欠如があるのではないか？

答弁（人権委員会の取り組みは？）

答弁（住民課長） これまで関係機関と連携して啓発冊子の発行や該当啓発人権講演会の開催等、様々な啓発活動を行っている。

質問 人権が保障され、差別が解消され、尊い命が守られるまちづくりのために、今後の取り組みは？

答弁（町長） 障害者対策も含めた安全安心のまちづくりは、ハードだけでなくきめ細やかな充実も大事。地域との連携も視野に入れた努力する。

【12月議会】
第2次長期総合計画の
基本構想から

質問 第1次長計の評価は？

答弁（企画課長） 成果としては防災対策。ハード面では防災タワーの設置、避難路の整備、病院、消防の高台移転、ソフト面は防災講座、避難訓練の実施、自主防災組織の強化、その他、子ども未来課の設置、学校給食の実施、大迎路の世界遺産登録、エ号遭難事件の映画化等、観光客増加の取り組みに成果。課題としては防災も含めて、安全・安心の町の実現のための対策が必要と考える。

質問 第2次長計の方向性を踏まえて、未来像をどう描くのか？

答弁（町長） 今後策定するまちづくり3か年計画も含めてみんなで内容を共有しながら進めたい。

その他、スポーツ大会・合宿の誘致活動（南紀エリアスポーツ合宿誘致協議会への参加）、各地域の獅子舞継承で活発化を見せる青年層に地域活性化の役割を任せ、その支援策として「まちづくり応援寄附金」を充てるよう提言した。

また、最近、社会問題として報道されている、いじめや、育児放棄等の問題について、町域におけるいじめや虐待防止の取り組みの状況について訊ねた。



長脊 守

◎9月議会一般質問
防災対策関係について、以下の内容について尋ねる。

- ① 要支援者対策について
- ② 風水害対策について
- ③ 非常用備蓄品の補助制度について

(①答) 県沿岸津波対策事業により、当町の護岸のかさ上げ補強が取り組まれ津波の到達遅延により避難時間を確保し、要支援者等の避難対策が期待され、地域内のコミュニケーションや防災学習等の啓発活動を今後も継続及び拡大。

(②答) 側溝の冠水や川の氾濫については、現状を把握し、対策を検討。

(③答) 各地域自主防災組織の備蓄品整備は、一世帯500円以内の2分の1補助制度有り。台風・災害等で避難した場合、施設の備蓄品につ



水口 崇

職員的能力とプロ意識

質問 野村監督がプロ野球の監督について間もないころ、試合でエラーをした選手がベンチに戻ってきたときに、控えの選手達はドンマイ、ドンマイと、スポーツ選手によくある、なじる気もない。牧歌的なシーンに監督は血相を変えた。傷をなめ合うのはアマチュアのやることだ。かりそめにもプロを名乗るなら、ミスへの戒めもおかばりも選手を磨く砥石にはならない。個々の器を鍛えるのは自軍、敵軍を問わぬ切磋琢磨である。

議会も以前はプロの課長を育てる責任を担っていた。議会の厳しい指摘に対応して課長も議会も切磋琢磨していった。最近では、議論も少なく楽になったが、議会も課長も組織も成長していない。今回新聞に、会計検査院から串本町の国費の不当受給と載りました。副町長の注意喚起「間違いは誰にでも有りま

いては常に使用可で、備蓄品の設置されていない施設では、食料・毛布等は役場より早急に配布対応。



総合運動公園関係について尋ねる。

- ① 運動公園の利用状況と利用料金について
 - ② 運動公園の管理について
- (①答) 運動公園の利用状況は、昨年より増加。南紀エリアスポーツ合宿誘致推進協議会に加入し、各市町と連携を図って、利用推進。利用料金については、今後教育的配慮等検討課題。
- (②答) 施設管理は、現在2名体制で業務委託。作業員の必要な期間には派遣職員を増員し環境整備を行い、町民の方々の健康維持・体力増進に寄与でき、快適に使用できる環境整備に努める。

他に※自転車の安全教育※夜間照明設置について尋ねる。



◎12月議会一般質問
防災対策関係について尋ねる。

- ① 避難タワーについて
- ② 防災用携帯浄水器の補助金について
- ③ 災害時の公共トイレ対策について

(①答) 津波防災地域づくり推進計画に基づき避難困難地域の解消に取組み、避難路・防災拠点施設の充実整備。今後、想定される津波に対応可能な避難タワーの施設建設も今後検討。

(②答) 自主防災活動支援事業補助制度がある。10分の8の補助制度有り。

(③答) 簡易トイレで対応。設置場所の問題や衛生面の配慮が必要。プールの水・雨水の有効活用検討。

質問 私たちは、法律に守られ法律に縛られて安心安全な社会を形成している。法の遵守は日本国民として当たり前で大変重要である。

労働基準監督署から串本町の違法行為に対して、勤務の改善命令と超過勤務費用(労使話し合いで過去2年分)二百萬円の割り増し賃金等の支払い命令が出された。

まして人の命を預かる病院でこの様な事態が起きた。過重労働では医療事故につながる可能性もある。

この様な重要な事実を隠す串本町、町民も安心して串本病院に行けない。一刻も早い収束と労使の信頼関係を取り戻すことが急務である。

違法行為によつて一千八百萬円の支出する。議会での報告と謝罪をすべきであると報告が、町長の諸報告では報告も謝罪もされなかった(議長からも要請された)

答(町長) 病院は管理者に全権委任をしている、管理者を超えて謝罪するのはおかしい。

質問 諸報告で町長は、病院のことを報告している。つじつまが合わない。管理者からの議会での報告も謝罪も無し。

公共施設のバリアフリーについて尋ねる。



- ① 各公民館のバリアフリーについて
- ② コミュニティバスの停留場について

(①答) 公民館については、生涯学習の中核の場として、積極的に推進するため、施設の段差の解消していくように今後十分検討。新しく建設する場合は、トイレ・エレベーター等も十分考慮し検討。

(②答) コミュニティバスの停留所へのベンチの設置については、できることから検討。

他に※避難準備情報等の判断※保健福祉センターの健康診断・予防接種等について尋ねる。



質問 労働基準法違反で勧告に従わなければ、禁固刑である。重要な違法行為である。防災対策

質問 各地で行われている災害ボランティアセンター運営訓練未だに行われていない。串本町は、紀伊半島大害でボランティアに宿泊施設使用料百二十萬円支出。ボランティアの意味が解っていない。ボランティアは、寝る所と食事は自前が当たり前である。

新庁舎建設予定地の危機管理と安全性

質問 専門家からの話を聞く「熊本地震+東日本大震災」である。

駅裏への庁舎建設は、災害時上浦側は通行不可能で土砂崩れの可能性があり一本道で孤立化する可能性がある。役場庁舎は、道路の集積地で四方から庁舎に入場できる場所にすべきである。専門家の意見を聞くべきである。特にあの地の土質は弱い。





結城 力

昨年の9月・12月議会におきまして、①小・中学校での英語教育の課題と現状 ②公共交通と運転免許証の自主返納について ③福祉タクシー券の利用範囲の拡大について ④産業や商業の活性化策及び若者の起業支援と人材育成について ⑤地震津波防災対策について、5項目の一般質問を行いました。

小学校での英語教育と就学前児童の英語学習の実施について詳しく説明を致します。

皆様もご承知の通り平成32年度から小学校5年生から英語は教科となり、小学校3年生から必修科目になります。これは、文科省が日本のグローバル化に対応できる人材の育成を目的として、小学校での英語学習の強化・充実を

図るために実施されるものです。昨今は、企業においては、特に外資系企業では英語で会議を行い、英語を話せない社員は昇進の道を閉ざされてしまう事態が生じていると言われています。英語教育の重要性はこれから増々強くなっていくと予想されます。

そこで小学校において3年後に実施される当町の英語教育の必修化・教科への取り組みの現状と、現在小学校5年生から必修となっている英語が子どもたちに質の高い教育が提供されているかどうかを質しました。

答弁は、教科・必修化への取り組みはこれから着手するとのこと。現在行われている英語学習は週1回授業が行われ、月に1回外国人の先生が授業を行っているとのこと。日本人の先生による英語学習は、その指導力にばらつきがあるため課題を抱えているとのこと。また、小学校1年生から授業を行っている小学校と小学5年生から授業を行っている小学校があり、学校によってカリキュラムが

違っています。英語教育は、幼児期の早い時に行うのが、音を聞き分けたり・正確に発音する能力を養うのに効果的だと言われています。

古座川町では、保育所で週3回(1回30分)外国人の先生による英語学習を行っている。保育所で外国人の先生による英語学習を始めています。

古座川町の保育所での英語学習を見学しましたが、保育園児の楽しんで学習している姿と英語の発音の良さに驚きと感銘を受けました。また一方で、串本町の子どもたちと古座川町・すさみ町の子どもたちの間に、英語の学力に差が開いてしまっているのは危惧を強く感じました。

日本の将来世代は、英語でのコミュニケーション能力が社会で活躍するための必須の条件となります。子どもたちの未来に役立ち、活用できる教育を子どもたちに提供することが町の使命でもあります。

串本町に生まれ育つ子どもたちに義務教育課程での質の

高い英語教育の必要性と、古座川町・すさみ町が実施しているような就学前児童の英語学習の実施を当局に強く求めました。

就学前児童の英語学習の実施についての教育長の答弁は、できるだけ出来る方向で考えていきたいとのことでした。

また、町長部局からの答弁は、古座川町・すさみ町と串本町では児童数が違うので、そこに課題も存在するとの認識が示されました。

ちなみに、外国人の先生を1名雇用するには約500万円の支出が必要となります。古座川町・すさみ町では1名の外国人の先生を就学前児童の英語学習のために雇用しています。串本町では2名の先生の雇用が必要と考えられますので、約1,000万円の支出となります。この支出が許容されるものかどうか、皆さんは如何考えるでしょうか？

他の4項目の一般質問について、ご関心があればご連絡ください。



橋爪 和雄

10月議会

学校給食について

質問 町内業者の仕入れ状況についてと仕入れに対しての取り決めについて。

答弁(教育次長) 町内業者が22。町外業者が5から仕入れられている。米は地産地消米生産組合から購入している。

仕入れについては串本町学校給食センターの食材発注指針によって行っている。

質問 食べ残り対策について。

答弁(教育次長) 毎日ご飯とおかず、種類別に残量を記録して、その後に役立てている。

質問 串本病院の現状について

南海トラフ地震等の災害対策(診療体制・食料・人

工透析用の水の確保)について。

答弁(病院事務長) 想定される準備も含めた中でマニュアルをつくっている。食料・飲料水、3日分の備蓄をしている。

質問 他の医療機関との連携と応援体制の策定について。

答弁(病院事務長) 広域災害を想定した訓練を年に1回、新宮広域圏の中で行っている。

質問 信頼できる安心できる医療体制について。

答弁(病院事業管理者) 管理者会議(管理者・病院長・看護部長・副院長・事務長)で、問題点等についていろいろ会議をやっている。会議で検討した結果を病院運営協議会へ、各セクションの責任者に常に発信している。病床稼働率、ご意見箱の対応、患者支援室についても、質問をしました。

水道施設の取組みと水道料金について

質問 水道施設の今後の取組みと水道料金について。今後の老朽管の更新状況について。

答弁(水道課長) 管路更新は平成26年より計画的な更新を行っている。有収率の目標80%を目指している。料金の改定につきましては検討している。いかなければならない事項ですが、努力すべき部分、有収率の向上・徴収率の向上を行っている、運営を行っている。直ちに改定にはならない。

12月議会

コミュニティバスについて

質問 コミュニティバスの運行実績と町民からの要望対策について。各路線の運航本数と時刻表の改正について。

答弁(企画課長) 当初予定していました年間5万人でしたが、この11月で8万人ということで3万人オーバーしていることになりました。

住民が便利になるように利便性を図るように調整させていただいています。

観光状況について

質問 串本町の宿泊数と日帰り状況について。浦島ホテルの閉館状況について。

答弁(産業課長) 浦島ホテルが休館した影響で宿泊数は

減。日帰り客は増加している。

答弁(町長) 京都の不動産屋さんが施設の購入をしてくださいまして、すべての耐震補強をしてリニューアルをするには1年半近くかかる。

日米修交記念館についても質問をしました。

質問 事業所の就職者状況と対策について。

答弁(福祉課長) 現在のヘルパーさんが高齢で離職されたとき、次のヘルパーさんの確保に不安がある。

質問 福祉資格の補助制度について。

答弁(福祉課長) 県で平成28年度から行っているが串本町単独の補助制度はない。

質問 町としての助成制度の制定について。

答弁(福祉課長) 町で受験ができるように、講座ができるような制度に対して補助がないか研究したい。

最後に古座川病院の跡地周辺を、漁業・農業・林業地域活性化拠点基地構想、未来の地域活性化につなげる案について提言をしました。



川勝 昇

くしもと町立病院課題

質問 労務対策。和歌山県地域医療構想への対処方。医師交代の改善。コンサル診断。

答弁（病院事務長） 当直業務の正勤告を労働基準監督署から受け、1,828万8千円を支払う。労働者側と協議不十分を反省、体制整備する。

病床稼働目標85%。28年度一般病床目標83%、10月末一般病床73・8%、療養型65・6%、病床稼働率合計71・2%、消化器内科3カ月交代、6カ月交代、外科半年交代に改善。

コンサル診断は検討する。

高遠道路事業対策

質問 高遠道路関係課題と対策は整備されたか。

答弁（建設課長） 高遠道路の設置案が示された。都度、町の希望を伝えます。

質問 残土処分場は町の協力を得て取り組む方針。対応方は。

答弁（建設課長） くしもと町立病院北側山間部に処分場を準備中。又、工事箇所近くに可能な場所・公共の利益になる場所があれば検討。

質問 付加価値追求も課題。

答弁（町長） 国と協議しながら進めている。串本町にとって千載一遇のチャンス。命の道・経済の道。将来串本町発展の道の方に協議する。

防災危険防止対策

質問 危険急傾斜施設の老朽化対策、町道くじの川線の危険箇所改修を急ぐこと。

答弁（建設課長） 危険指定箇所115ヶ所、県に対策要請。

くじの川線、地元と協議取り組みたい。高遠道計画とも考え合わせる。

出雲塔石道路計画進捗状況。

答弁（建設課長） 9月30日設計図面完成。用地交渉（出雲区が交渉）。同意を得て着工予定。

質問 有田吐生線護岸崩落対策。和深丸の元橋通行止改善。道路支障樹木対策。

答弁（建設課長） 有田吐生線は、町独自事業で復旧。和深丸の元橋は個人所有の問題が介在し困惑。今後一層努力したい。

質問 建設課の要員強化について。高遠道路事業も多忙となっている。町長に体制強化を求めたい。

答弁（町長） 地籍調査が進み、用地買収へと本格的な事業展開に入る。県も含め対策室を立ち上げる応分の人の配置必要。建設課長からも人員増の要望を強く受けている。

今後の職員体制に十分配慮した人事を考えていきたい。

木曜島日本人墓地対策

質問 「最後の真珠貝ダイバー 藤井富太郎先生」という資料・雑誌を翻訳された青木麻衣子先生が、8月に来串され、「木曜島の現況と今後の課題」についてお話しされました。

木曜島に存在する日本人墓

地約700基。串本出身者と判別されているのが、大体125基ほど。串本出身者と想定されているのは150基ほど。

平成5年、19年、26年と3回串本町から墓地訪問団を派遣している。県当局としても、積極的な協力をされている。

藤井さんの犠牲者を悼む心、ふる里を偲ぶ情愛に共感を禁じ得ない。是非木曜島日本人墓地が清掃され美しく保全されるよう、串本町として努力を続けるべきである。

答弁（総務課長） 木曜島串本出身者のお墓は127基と把握。傷みが激しくなっている。トレス市の日系人会等が管理・清掃して下さっている。

日本人墓地でお盆の行事用に、ちようちん・紅白幕・うちわ等お送りしました。平成27年7月からお盆行事開催。市長・日本国領事も出席、好評。今後友好都市トレス市との交流を深める方策を検討していきたい。



沼谷 美次

〔9月議会〕

質問 各家庭における非常食の備蓄について。

答弁（総務課長） 県で1日分、町で1日分、住民の方々に最低1日分備蓄することを勧めています。

答弁（町長） 宮古市では食料も大事ですが、水が何せ大事だと。それを受けて串本の消防団にもなんたん水を購入していただきた。

質問 災害時の医療体制について。

答弁（総務課長） 日本医師会により組織された災害医療チームで急性期の災害医療を担当するDMATが3日程度で撤退し、DMATにかわってJDMATが現地の医療体制を回復するまでの間、地域医療を復元してきます。

質問 避難所確保のための公共施設を高めること。

答弁（町長） サング台中央線の道は作業道として国土交通省が設置してくれて、それに関係して残土等利用して土地をつくり、そこに公共施設や学校等を高台に上げていく計画を進めております。また南三陸町長は復興に向けての作業は行政に携わった人でないためには公共施設の高台移転を早くする旨のお話をされておりました。

質問 避難所確保のための公共施設を高めること。



芝山 定史

串本町議会議員 政治倫理審査会審査結果

串本町議会議長宛てに平成28年8月30日付けで、川勝議員・漆畑議員・水口議員の3名から串本町議会議員政治倫理条例第4条の規定に基づき、調査請求書が提出されました。

調査請求内容は、芝山議員が、議員当選して会社の代表を辞任したが、代表辞任前と同じく議員みずから町の入札に参加し落札もしている。芝山議員は、会社の実質の経営者であり、串本町議会議員政治倫理条例第3条（政治倫理基準）第1、3、4の各号に該当の疑い及び地方自治法第92条の2（議員の兼業禁止）に抵触する。ということであった。

請求に基づいて、串本町議会議員政治倫理審査会（秘密会）が設置され、慎重な審査の結果、議員の入札参加は地方自治法第92条の2に抵触するものではないが、串本町議会議員政治倫理条例による「政治倫理に反する」との立場に立ち、芝山議員に自重と反省を求めると同時に、町当局に対しても同条例の立場を踏まえた行政執行を求めるものである。との報告がなされました。

委員会からの報告を受け、同条例第9条の規定により、議会運営委員会へ諮った結果、串本町議会だよりに掲載して公表することとなりました。

串本町議会一般質問DVDの 貸し出しについて

一般質問DVDの貸し出しを下記の場所にて行っておりますので、ご利用ください。

- 串本町役場本庁舎（2階：総務課）●串本町役場分庁舎（3階：議会事務局）
- 潮岬公民館 ●有田公民館 ●田並公民館 ●和深公民館
- 大島総合開発センター ●田原連絡所

一、「串本町長期総合計画（二次）（二次）について」
【十二月議会】
【質問】第二次串本町長期総合計画実施に向けて町長の所信を問う
【答弁（町長）】平成二十八年度から平成三十七年度の計画を示したのですが、安心・安全・防災・減災を中心に示しています。
【質問】過去三カ年の実施計画において達成率二五％、五〇％の項目もあるが、原因を究明しているか？
【答弁（町長）】財政上の合併特例債が関連している。合併時に十年後新庁舎建設も計画していた部分での遅れも、関係していると思う。
【質問】長期総合計画の実施にあたり合併特例債の使用が、鍵となると思うが、現在の状況は？
【答弁（企画課長）】合併時六十億七千九百八十万円であつた。現在残額十四億五千三百六十万である。注…一億円以上の支出事業について答弁あり今後新庁舎建設に九億使用予定
【質問】合併特例債使用期限は、平成三十二年までとなっているが国に延期の動きは？
【答弁（企画課長）】使用時期、延期の動向なしです。
【質問】平成三十二年に、使用期限切れとなる合併特例債は、事業企画しとけば有効か？
【答弁（企画課長）】平成三十二年に予算計上し、許可をいただいた時点で発行が可能になる。また繰越事由があれば、事業実施は一年（平成三十三年度まで）の繰越しは認められると思う。
【質問】全国的な観点から串本の知名度をどう考えるか？
【答弁（町長）】串本館、台風接近等からみて全国的に知られている方の自治体と思う。
【質問】反対と感じ、何を中心として串本を売り出すか？オンリーワンを作るべきでは？
【答弁（産業課長）】行政は、各方面から取組むべきであり、オンリーワンでなく総合的見地から判断したい。

議会の動き

《本会議》

9月 7日～ 9月15日 第3回定例会
12月 7日～12月16日 第4回定例会

《全県協議会》

12月 8日 火葬場の整備について

《委員会》

【議会運営委員会】

8月31日 第3回定例会の運営について
9月 6日 串本町議会議員政治倫理審査会委員の選任について
11月30日 第4回定例会の運営について他
12月 7日 付託案件の取扱いについて
12月15日 意見書の取扱いについて

【常任委員会】

8月 3日 総務産業建設常任委員会

8月24日 文教厚生常任委員会
8月26日 総務産業建設常任委員会
9月 8日 文教厚生常任委員会
11月12日 総務産業建設常任委員会
11月24日 文教厚生常任委員会
12月 8日 文教厚生常任委員会
12月13日 文教厚生常任委員会

【特別委員会】

9月 8日 串本町総合開発特別委員会
12月 7日 串本町総合開発特別委員会
12月 8日 串本町総合開発特別委員会
12月16日 議会広報特別委員会

《研修会》

10月14日 東牟婁郡町村議会議員研修会
11月17日 串本町議会議員研修会
11月22日 委員長・副委員長研修会

議長公務日誌

(平成28年8月～12月 主なもの)



8月

- 2日 串本地区土木協会総会
(和歌山県水産試験場 会議室)
- 3日 平成28年度串本警察署管内警察
・消防連絡協議会総会(串本警察署 会議室)
- 5日 和歌山県町村議会議長会全議員研修会
(日高川町交流センター)
- 6日 第12回 串本まつり花火大会
- 8日 近畿自動車道紀勢線さすみ
・那智勝浦間建設促進協議会要望活動(東京都)
- 17日 和歌山県市町村総合事務組合8月定例会及び
職員採用面接試験(和歌山市)
- 23日 和歌山県町村議会議長会 理事会(和歌山市)
- 25日 近畿自動車道紀勢線さすみ
・那智勝浦間建設促進協議会通常総会及び国道
42号改良促進協議会平成28年度通常総会
(串本ロイヤルホテル)
- 29日 平成28年度国道371号(紀南地方)改良促進
委員会及び要望活動(アバローム紀の国)
- 30日 新宮周辺広域市町村圏事務組合 例月監査
(新宮市)

9月

- 11日 衆議院議員 二階 俊博 氏「自民党幹事長」
就任祝賀会(南部ロイヤルホテル)
- 16日 エルトゥールル号追悼式典(記念碑前)
- 24日 串本海上保安署新庁舎完成式及び祝賀会
(串本ロイヤルホテル)

10月

- 11日 和歌山県町村議会議長会職員採用面接試験
(和歌山市)
- 14日 東牟婁郡町村議会議長会議員研修会
(那智勝浦町 ホテル浦島)
- 18日 和歌山県町村議会議長会
県選出国会議員への要望活動(東京都)
- 19日 全国町村議会議長会 都道府県会長会(東京都)
- 28日 トルコ共和国建国93周年記念レセプション
(東京都 トルコ大使館)
- 31日 高知県室戸市議会行政視察(防災センター)

11月

- 1日 日米修交225周年記念式典
(串本町文化センター、串本ロイヤルホテル)
- 4日 新宮周辺広域市町村圏事務組合 例月監査
(新宮市)
- 6日 第11回 町民大運動会
(サン・ナンタンランド多目的グラウンド)
- 7日 地方議会活性化シンポジウム2016(東京都)
- 8日 全国町村議会議長会 政党(自民党)との懇談会
(東京都)
- 9日 第60回 全国町村議会議長会 全国議長大会
(東京都 NHKホール)
- 16日 人権講演会(串本町文化センター)
- 17日 議会改革についての議員研修会(古座分庁舎)
- 20日 第12回 ふれあいいきいきまつり
(串本町文化センター)
- 21日 和歌山県都市計画審議会
(和歌山市 アバローム紀の国)
- 22日 和歌山県町村議会議長会
委員長・副委員長研修会(和歌山市)
- 24日 和歌山県市町村総合事務組合11月定例会
(和歌山市)
- 30日 全国町村議会議長会 中間監査(東京都)

12月

- 1日 町村議会議員共済会中間監査及び全国町村
議会議長会理事会(東京都)
- 3日 第17回本州最南端串本グラウンド・ゴルフ大会
懇親会(串本ロイヤルホテル)
- 4日 第17回本州最南端串本グラウンド・ゴルフ交歓
大会(串本町総合運動公園)
- 11日 防犯少年剣道大会(串本町立体育館)
- 20日 新宮周辺広域市町村圏事務組合 例月監査
(新宮市)



委員長 鈴木幸夫
副委員長 漆畑繁生
委員 濱田勝裕
委員 水口 崇
委員 結城 力
委員 沼谷美次

読んでみたくなる紙面…住民目線で読みやすい内容…議会だよりしかない情報の掲載…◆全国町村議会議長会主催の議会広報コンクールで「優秀賞」を受賞した町の、編集基本理念として紹介されていました。◆「くしもと議会だより」も、町議会の活動を町民のみなさんに知っていただくため、本会議における一般質問の要旨等を載せた内容を発行してまいりました。◆限られた紙面で「だより」をどう作成するか。議会の重要な広報活動をどのように展開するか。まだまだ知恵をしばる必要があると考えます。次号は、改選後の発行となります。

編集

後記

